

第2期熊谷市人口ビジョン・総合戦略（案）に対する意見及び市の考え方

1 意見募集期間

令和2年1月23日（木曜日）から 同年2月25日（火曜日）まで

2 意見の提出者数及び意見の件数

提出者数 2名

意見の件数 3件

3 意見の概要及び市の考え方

該当箇所	意見の概要	市の考え方
P68～70 4 第2期総合戦略におけるSDGsの考え方	<p>内閣府の調査では、人口減少など自治体が抱える課題の解決はSDGsの考え一致しており、関心が高まっている。</p> <p>具体的な取組を推進する自治体の割合を2024年度までに60%に引き上げ支援を強化する、と言っている。</p> <p>熊谷市は今、どの段階までSDGs達成に向けた取り組みを進めているのか。</p> <p>SDGs達成に向け、先進的な取り組みを進める「SDGs未来都市」として、今後5年間で新たに150都市を選定し後押し関連施策を進める、と言っている。</p> <p>このような後押しをどのように考えるのか。</p> <p>SDGsの考えを広く周知する上で「17色のSDGsバッチ」を市単独で作って職員、自治会、民生委員等に配布(有償)を。</p> <p>SDGsのまちづくりを進めるために「持続可能都市戦略室」の設置を。</p>	<p>熊谷市人口ビジョン・総合戦略を推進していくことが、SDGsの目標達成に資するものであると考えており、第2期総合戦略の各取組へ位置付けることとしました。</p> <p>本市におけるSDGsへの取組はスタートラインに立ったところです。</p> <p>内閣府の選定するSDGs未来都市は経済・社会・環境をめぐる広範な課題へ総合的に取り組むことを後押しするものであると認識しており、今後、SDGs未来都市等への申請を含め研究を進めます。</p> <p>SDGsカラーホイールのバッジについては、今後、包括的連携事業者等のステークホルダーとの協力により検討を進めたいと思います。</p> <p>SDGsの推進に係る組織については、現在、企画課が中心となり組織横断的にSDGsの所管課となっております。今後も、第2期総合戦略の推進を図ることがSDGsの目標達成に資するという考えに基づき、企画課において担当します。</p>

<p>1-4 商業振興によるにぎわい創出</p>	<p>熊谷駅周辺だけでなく、籠原駅周辺も商業振興の必要性を強く感じる。</p> <p>魅力的で個性的な店舗等の誘致・開発を促進し街の魅力を向上させるべき。</p>	<p>籠原駅周辺は生活文化施設や公共交通を生かし、生活機能や居住の緩やかな集積や誘導を図る、地域拠点となっています。駅の南北の一定エリアを都市計画上の商業地域に指定し、商業・サービスの形成を図っています。</p>
<p>2-1 安心して暮らせる生活環境の確保と経済的支援</p>	<p>上記意見に関連して国土交通省提唱の「まちなかウォークアブル推進プログラム」への参加を要望したい。</p> <p>自動車に頼らない若年層から高齢者まで楽しく暮らせる街づくりを目指すべき。</p>	<p>本市が推進する「ひと中心のまちづくり」の理念は「まちなかウォークアブル推進プログラム」と共通するものであり、このプログラムに参加したところです。</p>